

■天竜区役所におけるデザインビルド方式についての意見交換

WS①で視察した静岡県浜松市の天竜区役所のデザインビルド方式について、天竜区役所から資料を取り寄せて分析した結果を藤井から報告し、意見交換を行った。天竜区役所の事例では、設計中に施工者を決定することで、設計が確定した部分から順次材の調達を行えるため、十分に材を乾燥する時間を確保できる、ということが特徴であったが、朝日村は事前伐採・製材を軸に考えており、天竜区役所の方式ではあまりメリットが感じられないという意見が大半であった。

【参考】WS メンバーからの意見

- ・デザインビルド方式のメリットが見えてこない。実施設計の段階で設計が決まった部材から発注できるのがメリットか。
- ・工期が限られている場合ならともかく、本村においては通常通り設計、施工別に発注をかけるのがよいのでは。

静岡県浜松市の天竜区役所の資料

4. 本事例のポイント

①設計者と施工者のJVの工夫

- ・設計者と施工者は別に特定し、両者特定後にJVを組ませた。
- ・設計特定者と施工特定者がJVを組むことは、選定時の公示で示していた。
- ・先に特定された設計者を、施工者の選定を公示する際に示した「要求水準書」の作成に関わらせていた。
- ・施工者選定にあたっては、「価格評価点」と「技術評価点」の合計で評価しており、価格や技術の提案の前提として、構造・規模やエスキースなどを公表していた。

②木の活用、木に関する技術についての工夫

- ・設計者特定及び施工者特定にあたっては、庁舎部分を木造とすることが示されていた。
- ・設計者の選定にあたっては、「構造に関する方針」や「木材使用に関する方針」を提案させ、評価項目の一つとしている。
- ・施工者の選定にあたっては、「木材（構造材）の品質管理と耐久性向上策」を提案させ、評価項目の一つとしている。

③地域材の活用、地域振興についての工夫

- ・施工者の選定を公示する際に示した「要求水準書」に使用材料等については、市内の建設地周辺地域で生産されたものを使用するということを盛り込んでいる。
- ・設計者の選定にあたって、参加資格に「市内に本店をおく事業者」を入れている。
- ・施工者の選定にあたっての評価項目に「市内業者施工率」を加え、市内業者が施工に関わることを評価する仕組みとしている。